

8月9日に「二人日和」上映会

7月例会は「ウォルター少年と、夏の休日」

4周年記念上映会「二人日和」

昨年は、加古川市民会館で「父と暮せば」の上映会を行いました。今夏も8月9日(水)に市民会館で、近年の日本映画の中から「二人日和」の上映会を開催することになりました。

今回は、全国映連からの情報で、文化庁からの日本映画上映支援の補助を受けて実施します。そのため、多少の赤字となっても補助で補填でき、会の運営に影響が出ないだろうということで、この機会に特別ゲストとして、主演の栗塚旭さんをお招きし、少し贅沢なイベントとして実施することにしました。

みなさん、お誘いあわせの上、是非是非、ご参加ください。

名称 / 4周年記念上映会「二人日和」

特別ゲスト 栗塚旭さん

日時 / 2006年8月9日(水)

上映会は、AM10:00～、PM1:30～

ゲストトークは、正午～とPM3:30～の2回

場所 / 加古川市民会館中ホール(JR 加古川駅から南へ徒歩20分、加古川市役所横)

料金 / 加古川シネマクラブ会員 800円、一般 1,200円。(非会員はチラシ割引などをご利用ください)



【作品データ】

タイトル / 二人日和

Turn over 天使は自転車に乗って(旧題)

監督 / 野村恵一

出演 / 藤村志保、栗塚旭、賀集利樹、山内明日、きたやまおさむ、市田ひろみ、池坊美佳、藤沢薫

データ / 2005年、日本、カラー、1時間55分、ドラマ

ストーリー / 京都の町家を舞台に、長年連れ添った熟年夫婦の強い絆と美しい愛の姿を繊細なタッチで描いた感動のドラマ。

伝統息づく京都の町家。ここに暮らす一組の夫婦のものがたり。貴族や神官などの装束を作る神祇調度司の老職人・黒由玄と妻・千恵。45年もの永い年月を共に生きてきた彼らの静かな日々は、妻が、徐々に身体の自由が奪われていく難病ALSに冒された時から少しずつ変わっていく。

ふさがちとなった妻を案じた黒由はある時、趣味でマジックをする学生・伊藤俊介と出会い、自宅に来てもらった俊介のマジックを見て千恵は素直に喜ぶのだった。こうして夫婦と俊介の交流が始まり、夫婦の日常にもささやかな変化が起こりはじめる。

例会のお知らせ

名称 / 第25回例会「ウォルター少年と、夏の休日」

日時 / 2006年7月14日(金) AM10:30～、PM1:30～、PM4:00～、PM6:40～(は試行、時間注意)

場所 / 加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅から北へ徒歩15分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北へすぐ)

受付 / 入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。

入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。



【例会作品データ】

タイトル / ウォルター少年と、夏の休日
SECONDHAND LIONS

監督・脚本/ティム・マックアンリーズ

出演/ハーレイ・ジョエル・オスメント、ロバート・デュヴァル、マイケル・ケイン、キーラ・ゼジュウィック、ニッキー・カット

データ/2003年、アメリカ、カラー、1時間50分、16mm、ドラマ/コメディ

ストーリー/父親のいないウォルター少年が母親から離れて預けられた田舎の家。テレビも無く近所の友達もいない。あるのは広い大地と、無愛想で頑固者のおじいさん二人と6匹の動物だけ。田舎の生活に馴染めないウォルターはある晩、屋根裏部屋で古い女性の写真を見つけた。おじいさん達の謎めいた過去に繋がるとてつもない冒険の扉が開かれる。

出演は「シックス・センス」のハーレイ・ジョエル・オスメント、「ゴッドファーザー」のロバート・デュヴァル、「サイダーハウス・ルール」のマイケル・ケイン、監督は「アイアン・ジャイアント」のティム・マックアンリーズ。

例会選定会議のお知らせ

今後の例会作品を考えるため、下記のとおり例会選定会議を行います。みなさんのおススメの映画を出し合っ、今後もよい例会を続けていきたいと思っておりますので、参加をお待ちしています。

名称 例会選定会議

日時 2006年7月25日(火)午後7時から午後8時頃まで

場所 藤和ハイタウン B-311 山本さん宅(東加古川サティ横)

内容 第28回から第30回まで(2007年1月・3月・5月分)の例会で鑑賞する作品についての選定・検討。

参加方法 直接会場にお集まりください。はじめての方は、東加古川のサティから携帯電話に連絡ください。迎えに行きます。

前回例会の報告

5月18日の例会では、「マラソン」を鑑賞しました。参加会員139人。

知的障害の子と母親の関係を中心に、子ども持つ可能性や、日常生活の中でよくある葛藤や喜びを散りばめた良い脚本で、監督が丁寧に作っていった名作だったと思います。主人公の少年を演じたチョ・スンウの演技も光る感動作でした。

参加者の感想(抜粋)

「感動しました」

「よかったア。このはいゆうさん最高！」

「ゆったりと観ることができました」

「雨を感じ風を感じる心の余裕が欲しい」

「母の愛は素晴らしい」

「家族、特に夫婦の感情をもっと描いてほしかった」

「20年間の母子の関係の中で、否定される場面の悲しみや、教えてきたことを理解してくれていた喜びに感動しました。」

「いろいろなことを考えさせられました。母親の子どもに対する影響。ときには、まとわりすぎとか…」

「障害のある孫がいます。親は一生懸命いろいろなことを体験させています。考えさせられました。」

「男たちの大和」上映会協力の報告

6月17日に市民会館で行われた「男たちの大和」上映会(兵庫県映画センター主催)に協力しました。雨の中1,000人を超える入場者がありました。協力員の皆さんはお疲れさまでした。

例会開始時間の試行経過

例会の開始時間については、PM2:00~、PM4:20~、PM6:40~として行ってきましたが、新しい会員の入会を促進するために、3月例会から「AM10:30~」を試行し、PM1:30~、PM4:00~、PM6:40~と、その時間帯の参加者の生活時間に配慮し、わかりやすい時間に変更しています。

3月と5月の例会では、参加者数にほとんど変化は無く、今までのPM2:00~の参加者が、AM10:30~とPM2:00~に別れただけの結果となっていますので、もうしばらく様子を見て、会員の増加に結びつかなければ、元の3回に戻すことになる気配が強くなっています。午前から夜間まで行うとなると会場費の負担が大きくなり、上映回数が3回と4回では、フィルムの使用料が大きく変わる場合が多く、経済的に厳しいためですので、お含みおきください。

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200~300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/cinemaclub>

会員数 186人(5月18日現在)